令和６年度　全国学力・学習状況調査の本市における結果について

常陸太田市教育委員会

『夢を描き　育て叶える　人づくり』

１　調査実施日　令和６年４月１８日（木）

２　調査対象　　小学６年生（３０３人）　中学３年生（２６５人）

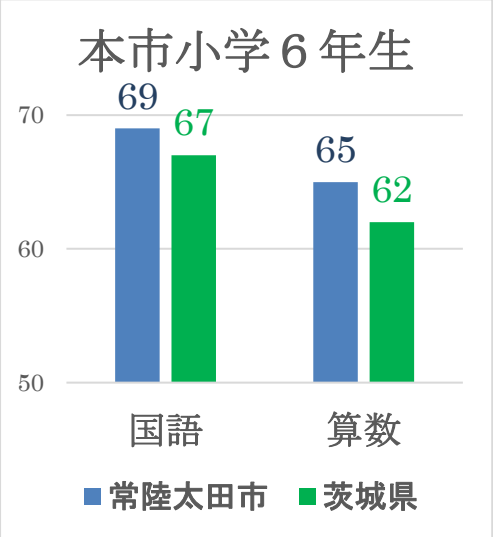
３　調査の内容

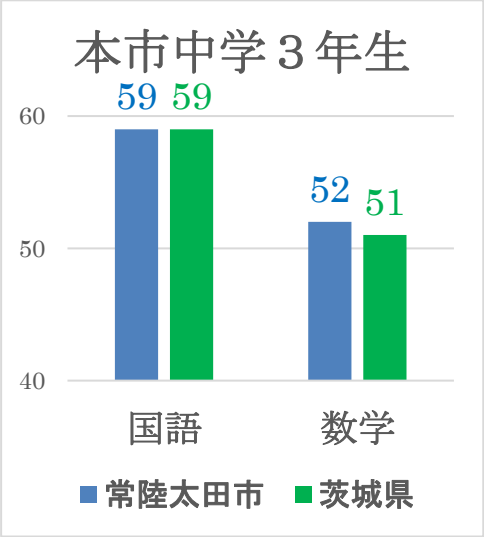
①　教科に関する調査

小学校：国語、算数　　中学校：国語、数学

②　生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

４　教科に関する調査の結果（本市の平均正答率）





令和6年度	国語	算数・数学
本市小学6年生	69（+2）	65（+3）
県小学6年生	67	62
本市中学3年生	59（±0）	52（+1）
県中学3年生	59	51

５　教科に関する結果分析の概要

令和６年度の本市の結果は、小学６年生の国語と算数、中学３年生の数学で県平均正答率を上回りました。また、中学３年生の国語が県平均と同値となる結果となりました。

教科別の分析結果及び改善へ向けての手立てについて記述いたします。

(1)　小学校　　※（　）内の数字は、問題の設問番号を表しています。

○　国語

【結果】県平均正答率比較　＋２

【成果】情報を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にする力が高まっている。

① 資料を見て作者がどのような目的や意図で書いたものかを適切に選択する問題（二ー(1)）　84.5%（県 80.8%）

② 情報と情報を関係づけ、語句と語句の関係の表し方について、適切なものを選択する問題（二ー(2)）89.4%（県 86.5%）

【課題】自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。

① オンラインで交流する場面において、話し方の工夫として適切なものを選択する問題（1二(2)）　52.5%（県 54.6%）

② 文章中のひらがな（きょうぎ）を漢字で書き直す。（2三ア）35.0%（県 39.6%）

【改善へ向けて】

☆漢字の学習は、反復練習だけなく、グループで本文での漢字の意味を考えたり、その漢字を使った文を考えたりする活動を取り入れるなど、意図的に適切に漢字を「使う」活動を進めていくことで、正しく理解し、活用できるようになります。また、自分の体験や資料を活用したスピーチやプレゼンテーションなどの、相手や目的を意識した活動場面を、国語科に限らず他教科においても設定し、児童が自分の伝え方についての課題を見い出したり、協働的に検討・改善できるようにしたりすることで、自分の考えや伝えたいことが伝わるようなります。

○　算数

【結果】県平均正答率比較　＋３

【成果】図形や計算の仕方についての基礎的な理解が身に付いてきている。

①問題場面について、数量の関係を□を用いた適切な式を選ぶ問題（1(2)）
88.1％（県 87.0％）

②作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選択する問題（3(1)）
90.1％（県 85.0%）

【課題】「生きた知識・技能」として身に付け、活用することに課題がある。

① 直径 22 ㎝のボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く問題（3(3)）
36.3％（県 35.9％）

②道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や式を用いて説明する問題（4(3)）　30.7%（県 29.9%）

③家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く問題（4(4)）
53.1％（県 53.4%）

【改善へ向けて】

☆　いろいろな大きさの球や立方体の箱を用意し、球がぴったり入る場合は何と何の長さが等しくなっているのかを考えるなど、実感を伴いながら理解できる活動を設定することが大切です。

☆　速さについては、公式にあてはめた計算の練習のみでなく、日常の具体的な場面に対応させながら考える場面の設定や、「分速 80mと秒速５mではどちらが速いか」「どうして秒速５mの方が速いと分かるか」など複数の速さを比べる場面を設定したり、必要な情報は何かについてグループで話し合ったりすることで、知識・技能が「生きて活用できるもの」として理解が深まります。

(2)　中学校

○　国語

【結果】県平均正答率比較　＋０

【成果】我が国の言語文化に関する事項に関する理解や、目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする力が高まっている。

① 物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する問題（3一）　85.3%（県 82.2%）

② 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する問題（4三）　89.1%（県 81.4%）

【課題】資料との関係を踏まえて文章の内容を解釈したり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることに課題がある。

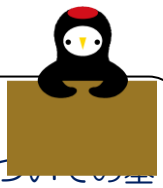
① 本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する問題（2一）　33.2%（県 36.4%）

② 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題（2四）　39.2%（県 43.0%）

【改善へ向けて】

☆日頃から、自分の考えを分かりやすく伝えよう、説得しようという思いをもち、根拠を明確にしたり、表現を工夫したりすることを心掛けているでしょうか。文章を読むときには、具体から抽象を捉えて文章の中心的な部分と付加的な部分の区別をし、根拠となる資料と結び付けながら、必要な情報を的確に捉えているかを互いに確認する活動を取り入れることが重要です。

○　数学



【結果】県平均正答率比較　＋１

【成果】基礎的・基本的な計算技能が身に付いている。また、関数領域については基礎的・基本的な理解の定着が見られる。

① 問題場面における考察の対象を的確に捉え、正の数と負の数の加法の計算する問題（6(1)）　92.8％（県 88.8%）

② 二つのグラフと y 軸との交点 P の y 座標の値が表すものを求める問題（8(1)）　87.5%（県 84.0%）

③ グラフの傾きや交点の意味について、事象に即して的確に捉えることができているかどうかを言葉と数字で答える問題（8(3)）　84.5%（県 76.8％）

【課題】知識・技能を活用して、説明する力や証明する力について課題が見られる。

① 車型ロボットが「速さが段階１から、段階５まで、だんだん速くなるにつれて、10ｃｍの位置から進んだ距離が長くなる傾向になる」と主張できる理由について、五つの箱ひげ図を比較して説明する問題（7(2)）　27.2%（県 27.1%）

② ２つの辺が等しいことを、２つの三角形が合同であることを示すことで証明する問題（9(1)）　20.0%（県 21.5%）

③ 角の大きさに着目し、それまでの問題解決の過程や結果を振り返り、２つの角の和について新しい性質を見いだし、正しいものを選択する問題（9(2)）　20.8%（県 23.9%）

【課題改善へ向けて】

☆箱ひげ図については、小学校で取り扱ったドットプロットを振り返り、箱ひげ図がデータのおおまかな分布のようすを捉えるための図であることを捉えましょう。また、箱の中には中央値を中心とした全体の約半数のデータが含まれていることを理解できるようにする。これらについて、複数の箱ひげ図をもとにして、データの分布の傾向を読み取り、説明し合う場面を設定する。

☆証明については、まずは基本的な三角形の合同の証明をしっかりと書けるようにしたいです。三角形や四角形の性質や対頂角、平行線の性質など証明の根拠となる知識・技能を活用することや、証明をする際には、「仮定」と「結論」をはっきりさせることを意識しながら書くことが大切です。

６　生活習慣や学習環境に関する調査結果　～市学校教育指針との関連から～

		本市小学6年			本市中学3年		
	質問項目 ※「あてはまる」及び「どちらかと言えばあてはまる」の割合＝ %	市 平均	差 （県）	県 平均	市 平均	差 （県）	県 平均
夢育	将来の夢や目標を持っていますか	87.3	2.6	84.7	77.2	9.2	68.0
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.7	0.7	96.0	97.8	2.4	95.4
徳育	自分には、よいところがあると思いますか	86.3	3.6	82.7	89.5	6.8	82.7
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.9	-0.2	97.1	97.5	1.4	96.1
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	89.3	3.9	85.4	85.6	7.9	77.7
	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	90.6	1.5	89.1	96.4	4.0	92.4
知育	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	84.3	6.6	77.7	84.5	8.4	76.1
	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできますか。	90.0	8.3	81.7	85.6	6.5	79.1
	5年生（中1・2年生）までに受けた授業で、タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。※週3回以上	46.8	-13.1	59.9	83.4	5.5	77.9
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか。	89.3	2.2	87.1	94.3	7.4	86.9
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点についてを見直し、次の学習につなげることができていますか。	87.6	4.8	82.8	88.1	9.9	78.2
体育	朝食を毎日食べていますか	94.0	0.3	93.7	95.7	4.0	91.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	82.0	-2.0	84.0	84.8	3.1	81.7
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.9	-2.4	92.3	95.0	2.1	92.9
	健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。	87.0	1.6	85.4	89.1	7.6	81.5
その他	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	91.9	9.7	82.2	93.2	10.2	83.0
	学校へ行くのは楽しいと思いますか。	88.6	2.0	86.6	89.9	6.0	83.9

					国語（14問）※15問	国語（14問）※15問	県平均	算数・数学（16問）	算数・数学（16問）	県平均
自分には、よいところがあると思いますか	小	A	39.4	86.2	71.1	70.0	67.0	69.1	66.2	62.0
		B	46.8		68.9			63.2		
	中	A	37.2	89.7	61.3	59.4	59.0	56.1	52.9	51.0
		B	52.5		57.5			49.7		

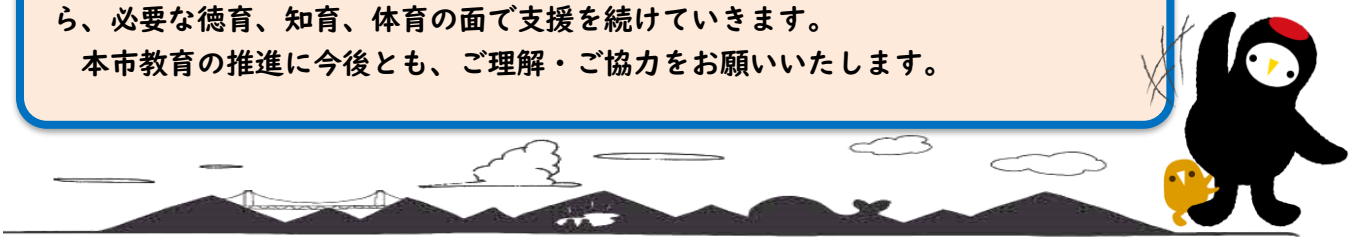
A　当てはまる　　B　どちらかといえば、当てはまる　　※中学校の国語は15問

７　生活習慣や学習環境に関する調査結果分析

○「将来の夢や目標を持っている」と考えている児童生徒の割合が高いこと
○「人の役に立つ人間になりたい」と考えている児童生徒の割合が高いこと
○「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考えている児童生徒の割合が高いこと
○ 中学校においてタブレットを活用した授業が各学校において進んでいること
　※小学校において週１回以上の活用は87．１（県86．４）で+0.7
○「自分にはよいところがある」と答えている児童生徒は国語、算数・数学の正答率が高いこと
○「総合的な学習の時間」を中心に、自分で課題を立てて、学びを進める学習活動に対して意識が高まっていること

「地域や社会との関わり」に対する意識が、県の平均値と比べ、高い特徴が見られました。これまで「ふるさと教育」における小中連携の取組の成果が数値となって表れてきたといえます。

保護者の皆様、地域の皆様へ

日頃より本市教育活動へのご理解・ご協力、誠にありがとうございます。学校教育は、児童生徒の将来の夢の実現に向けて、一人一人の児童生徒に寄り添いながら、必要な徳育、知育、体育の面で支援を続けていきます。

本市教育の推進に今後とも、ご理解・ご協力をお願いいたします。